

▪明日から夏休みですね。

▪いまほど表彰を受けた陸上部、剣道部の皆さん！
全国大会でのご活躍を期待しております！

▪さて「頑張る」というエネルギーは素晴らしいものです。

▪このことを、出雲崎高校の生徒一人ひとりが理解し、
「自分で自分を育てていく」ことを期待します。

▪私は、この4ヶ月間のみなさんの姿を見て、「この生徒は『損な生き方』をしているな！」と思う場面が、実は何度かありました。

▪それは残念なことですが、見方を変えれば、それは 生徒の『伸びしろ』です。

▪私は以前、自分のことを「出雲崎高校、そして出雲崎高校生を宇宙一愛しているのが自分だ！」と言いましたね。

▪その校長が皆さんに伝える「伸びしろ」に係する話だと思って、聞いてください。

▪それは**ズバリ！**「損する生き方」をやめ、「得する生き方」をしていきましょう！ ということですよ。

▪このことを皆さんに、強くお願いしたいと思います。

▪しかし、恐らく、「損な生き方」をしている生徒自身は、「自分は『損な生き方』なんてしていない」と思い、間違って、現実を捉えていると思います。

▪そこで、簡単なクイズを3問出しますので、それが「**損する生き方**」なのか、「**得する生き方**」なのか選んで、挙手してください。

▪ただし、その後、生徒の皆さんに「そう考えた理由は何ですか？」とは聞きませんので、安心して手を挙げてください。
▪また、仮に正解ではない方に手を挙げた人がいても、決して笑わないでくださいね。

第1問

お祭りに行ったら、道に1万円が落ちていたので、拾って、好きなものを買うことができた。

- 正解は「損な生き方」です。

- 理由を言う前に、少し、補足します。

- 「**生き方**」と表現するときな、「たまたま今回は？」とか「今日は？」とか、この様な短期的に捉えるのではありません。

- 少なくとも、「いまの年次の時には！」とか、「本校の在学中は！」など、**中・長期的な視点で考えていくもの**です。

- では、……

- その様に考えれば、当然正解は「損する生き方」となります。
- 短期的な視点では、「得した」と思うかもしれませんが、よく考えてください。
- 中・長期的な視点で考えるとどうでしょうか？
- それは、逆なことを考えればすぐに分かりますよ。
- つまり、……

- 1万円を拾って、警察に届けるとなると、どうなるでしょう。
- 恐らく、心の中から、「悪魔のささやき」が聞こえてきます。
- そのささやきは、.....
「届けなくても大丈夫！お札に名前は書いてないよ。」
「盗ってもばれないし、ラッキーと思って受け取れば良いさ～」
という甘い甘い誘惑の声です。

- それでも、その「悪魔のささやき」に負けずに、善悪を判断して警察に届ける！ それができる人間になる！
- それが出来た時に、きっと、その様な生き方を選んだ「自分」という存在に対して、自分で「自分」が好きになれるわけです。
- また、「落とした人はきっと困っているだろうな。その人にしっかりと届けば良いな～」と願うことで、心も優しくなっていきます。

- その結果、その人は、確実に『人間力』が育ちます。そして、周囲の人からも信頼され、ゆたかな人生を得ることが出来ます。
- これが、中・長期的視点で「得する生き方」になるわけです。

2問目

授業中、隠れてスマホでゲームをしていた。
友だちは気づいていたが、運良く先生には見つからずに楽しめた。

- 正解は「損をする生き方」です。
- なぜなら、この生徒は、明らかに「上手に人をごまかす」、「上手にバレないように怠ける」ということを覚えて、身につけていくわけです。
- そして、仮にバレたとしたら、「次こそ、もっと上手にごまかそう」、「次こそ、もっと上手に怠けよう」と、頭を回転させるようになっていきます。

- さらに、周囲の頑張る生徒の気持ちへの配慮もできていません。
- その結果、「自分さえ、その時が楽しければ良い!」、「周囲の人がどう思うが、自分には関係ない!」となります。

- このようにして、「わがままな考え方」を覚え、身につけて行きます。
- そして、その結果、こころが卑しくなっていくのだと思います。

- このように考えると、中・長期的視点では、とても「損な生き方」です。

3問目

授業中、先生が

「今教えた内容で、分からないことがあれば、席を立って、分かる人を探して、学び合ってください!」

と話があったので、人が自分の所に聞きに来た。

そして、自分自身は、最初から最後まで、教える側だけであった。

正解は、「得をする生き方」

- この生徒は、仲間に教えるなかで、『助け合い』や『支え合い』の大切さを体験的に学んでいきます。
- また、説明をするなかで、自分自身が、もっと深く学習内容を理解する事ができるようになるかもしれません。
- そして何より、友だちの勉強の理解が進むと、学びの場の雰囲気も良くなり、仲間としての一体感と達成感を感じていけます。
- そして、その学び合いの場面に自分自身が貢献できることに、自分の存在価値を感じ、自己有用感も高まります。

- さらに、教える側は、相手の表情を見たり、質問して「教えている内容を理解しているか」を確認し、相手に伝わることばを選んで、相手に配慮したコミュニケーション力も身につけていくと思います。
- このことは協調性にも繋がってきます。
- このような力は、社会で仕事をしていく際にとっても求められる力です。
- その他にも、いま話にあがっていない「沢山の価値」があると思います。
- これらのこと(非認知能力)は、単に数学の公式を覚えたとか、漢字を覚えたということ(認知能力)以上に、価値を持ってくるとと思います。

以上「3問」でした。（パチパチパチパチ）

- さて、みなさんに聞きます。
- 「得する生き方」を中・長期的な視点で考え、「得する生き方」を選ぶことの大切さを理解できましたか？
- ここで「分かった！」となっても、実際に、その生き方を出来るか、出来ないかは、別物かもしれません。
- 私が思うに、このことの本質を「分かった！」「納得！」となるには、沢山の本を読む必要があると、考えています。

・しかし、「読書」に代わる、すぐに効果が出る「**スペシャルな技**」もあります。

▪これからそれを伝授するので、是非、実践してください。

▪そうすれば、あなた自身、確実に『得する生き方』ができます。

・その「スペシャルな技」は、みなさん一人ひとりが、

「絶対にクラスの誰一人も見捨てないぞー！」

「それも、誰々と誰々は、仲が良いとか悪いとか全く関係ないぞー」

「一緒に学び、一緒に学校生活する仲間という事実こそ大事だー」

「だから、誰一人取り残さずに、みんなで本当に助け合うぞー」

「全員で本当に支え合うぞー、その様なクラスをつくるぞー」

と思い願い、実際に、一人ひとりが、その様に行動していくことです。

・なぜなら、

・みんながその様に動くことで、あなた自身も誰からも見捨てられない、みんなから助けてもらえる、支えてもらえる存在になっています。

・中・長期的な視点から見れば、自分の周りの人、誰一人取り残さない、見捨てない、それをみんなが徹底する！ことが、実は「自分自身が『得する生き方』を選ぶ」ことに直結するのです。

・この実践を皆さんに期待しています。

では、充実した夏休みとし、元気に8月29日の全校集会でお会いしましょう。